

ナタネ栽培における適期播種の重要性

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

1 部門名

普通畑作物－その他－作型・栽培型

2 担当者

平山孝

3 要旨

ナタネ「キラリボシ」において、播種時期が遅れるほど生育・収量は大きく低下するため、播種適期（中通り平坦部の場合は9月下旬～10月上旬）を遵守する必要がある。

- (1) 農業総合センターで平成23年9月下旬～11月上旬まで順次播種を行った結果、越冬後の生体重は9月下旬播種が最も大きかった。播種時期が遅れるほど生育は遅くなり、9月下旬播種と11月上旬播種では抽苔期に10日、成熟期に9日の開きが見られた。
- (2) 子実収量は9月下旬播種と比較して、10月下旬播種では3割減となり、10月下旬以降の播種では極めて低くなった。

表1 キラリボシの生育・収量調査

播種時期	播種日 (月・日)	生育ステージ			越冬後 生体重 (g/m ²)	成熟期 草 丈 (cm)	収量	
		抽苔期 (月・日)	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)			子実重 (kg/a)	同左比 (%)
9月下旬	9.28	4.13	4.28	6.24	720	151	24.2	(100)
10月上旬	10.07	4.16	5.01	6.26	544	148	22.3	92
10月中旬	10.17	4.17	5.02	6.29	226	136	17.8	74
10月下旬	10.27	4.18	5.02	6.29	48	122	5.0	21
11月上旬	11.07	4.23	特定できず	7.03	-	94	1.1	5

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～24年度
- (2) 研究課題名 ナタネの安定生産技術と飼料利用法の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成24年度センター試験成績概要